

国所有：文化庁保管
写真提供：埼玉県教育委員会

資料名　まが玉

よみがな　まがたま

時　代　古墳時代

大きさ　長さ4cm



出土場所　行田市　埼玉稲荷山古墳

指定区分　国宝

解　説　　このまが玉は稲荷山古墳から発見されたもので、ヒスイでできています。金錯銘鉄剣と同様1983年に国宝に指定されました。

古墳時代の中頃には、まが玉は鏡と同様、持つ人の地位や力を象徴する道具として取り扱われるようになります。後期になると豪族が身に付ける道具として量産され、頭と尾が角ばる「コ」の字に近いまが玉が流行します。

（参考：埋文さいたま 66 号）

まが玉には素材や大きさ、色の違いはあるのかな？調べてみましょう。